

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

| | |
|------------------|--------------------------------------|
| 報告日 | 平成 30 年 4 月 30 日 |
| 報告者 | 小原隆史 |
| 助成団体名 (所属団体名) | 琵琶湖ローイング CLUB |
| 団体住所 | 〒 520-0821 滋賀県 都道府県 大津市湖上が丘 34-16 |
| 団体電話番号 | 077 - 526 - 8701 |
| 代表者 (助成対象者) | 小原隆史 |
| 助成対象事業 | 知的障がい児（者）の自立訓練における「エルゴ教室」 |
| 事業（助成）期間 | 平成 29 年 10 月 ～ 平成 30 年 3 月 |
| 事業費総額 | 1,185,486 円 |
| 助成金総額 | 450,000 円 |

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は最小限度に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

パラローイング（障がい者ボート）の活動を行っている当 CLUB のスタッフが、陸上でボート運動ができるローイングエルゴマシンを持ち込んで運動支援を実施。

各施設を利用する障害のある方々に対して基本的な動作指導を行い、運動する楽しさや琵琶湖で盛んなボート競技に対する興味を喚起し、本事業を開催する事で、地域最大資源である琵琶湖で盛んなボート競技を通じ、知的障がい児（者）のスポーツを「知る」「体験する」きっかけとなり、地域ならではのスポーツ経験から「学び」や「気づき」の促進を図る。

そして施設から地域生活へ移行するための訓練や、社会生活を営む上で必要となる力を身に付けるための支援に繋げていく事で、地域社会全体の利益に寄与。

3、事業成果

本事業を実施するに当たり、訪問エルゴ教室を軸に、障害があっても安全に且つ琵琶湖から世界につながるスポーツがボートであることの認知を広め、まずは競技への興味喚起を促せた。

また、当団体の掲げる、障害のあるないに関わらず一緒にボートを楽しむために蓄積したノウハウを応用する事で、「チームワーク」「個性の尊重」「障がい者理解」「ボランティア精神」など究極の団体競技であるボートを通じて、地域ならではの特色あるスポーツ体験を提供。

多様性を「理解し」「認め合い」、そして「支え合う」事の大切さ。各々の地域で生きる、社会で自立する力の育成に有効であったと自負しています。

4、今後の課題など

「健康で豊かに暮らしたい」と願う気持ちは誰もが同じで、障がい児（者）が適度な運動を行う環境やきっかけを地域に作る事は、非常に重要であると感じています。

今後は受入れ体制を更に充実させ、実際に琵琶湖漕艇場において、ボートを漕ぐ体験会へと発展させ、持続可能な活動となるような計画で推進していきたいと考えています。

更には、「だれもが」「いつでも」ボートなどの湖上スポーツを楽しむための拠点建設を行政等に働きかけ、その実現に向け活動を継続していきたいと考えています。